

長泉さわやかハイキング山行報告書

文：井上 写真：掛橋

山行番 NO. 1597-2
日時 2014.5.15 (日) 晴
山域 八ヶ岳・西岳 (2398m) ~ 編笠山 (1524m)
標高差 富士見高原ゴルフ場 1350m ~ 西岳 2398m (+1048m)
青年小屋 2385m ~ 編笠山 2534m (+139m) 合計 = +1187m
参加者 小松、千葉 (ゲスト)、掛橋、井上弘二郎 = 4名
参加費 3500円

今回の山行は計画が大きく変わった。私は、2007年9月16日、18人の仲間とさわやかハイイクで権現岳に登っている。その時メンバーの内何人かが、観音平から青年小屋までの途中で編笠山に立ち寄ることになったが、ゆっくり登りたかったので私は行かなかった。

青年小屋に到着して編笠山を振り返ると岩がごろごろと重なった変わった山で、行っておくべきだったと後悔した。そのため、行きの中、後藤さんに編笠山に行きたいと申し入れた。すると、編笠の向こうの西岳にも行ったことがないなら、権現に行ったことのある人で西岳と編笠に行ったらどうかということになった。

エアリアマップのコースタイムの計算では、観音平から権現を目指すコースと上手く合流するのは難しそう。ちょっとしたチャレンジができると思い決行した。メンバーはパワフルだ。ゲスト参加の千葉さんには、最年少の座を譲ることになった。

(話を時系列に戻す)

5:15 竹沢種店前で後藤さんの車に乗り込む。長泉から第2東名に入り、富士で下り、浜道さんの車と合流。小淵沢 IC で下りる予定が、車内の話が盛り上がっているうちに IC の標識を見逃し、次の IC で折り返すタイムロスが発生。しかし、初めて朝の富士山を北から眺め、一堂にほうとうなる。改めて小淵沢 IC で下りる。

7:40 富士見高原ゴルフ場駐車場でメンバー4人は車を降り、出発。後の8人は予定通り観音平から権現岳を目指す。出発後しばらくなだらかな道を歩く。結構長い。森の木と苔に囲まれ空気の臭いがよい。徐々に等高線の間隔が狭くなり、まっすぐの道もジグザグになり登りの負荷を感じ始める。

小松さんはブランクが長く、少し遅れて登ってくる。途中、年配の5~6人のグループが2つと母子3人、おじさん一人、軽装の足早の若者一人ぐらいとすれ違った。この若者は10時前に下山してきてサッカーワールドカップ日本初戦のコートジボワール戦を見ていると言っていた。

10:08 西岳登頂。約1050mを2時間28分で登った (マップのコースタイムは3時間25分)。今日1回目のパノラマを楽しんだ。編笠、権現が目前にそびえる。風が冷たく気持ちよい。

源治新道を通り青年小屋を目指す。沢を挟んで右手に青年小屋を見ながら歩くがなかなか近づかない。そのうち北へ小屋から離れる方向に歩き始め不安になり、単独の



富士見高原駐車場



不動清水

編笠山



おじさんに聞いて確認した。そのあとはすぐに南向きに方向が変わり、乙女の水を過ぎるとあっという間に小屋に着いた（11：25）。

権現に行くか、編笠に行くか、全員で相談する。私と小松さんはけっこう疲れており、権現に行くと編笠に行く元気はなくなりそうなので、編笠を選択した。（この時点でサッカーは日本 1-0 でリードしていた）

直径 1~2 メートルの岩が積み重なった状態のコースで、岩に赤のスプレーで丸印や矢印が書かれコースが示されているが、少しは歩きやすいかもしれないが、どの岩を通ってもさほどの違いはない。意外としんどい。すでに西岳の登りで疲れてしまっている。ごろごろ岩帯を抜けると樹林帯に入る。登山道の脇に雪が残っている。風が冷たいわけだ。御椀を逆さにしたような形の山で、頂上に近づくと傾斜が緩やかになる。樹林帯の終わりと同時に頂上に出た。

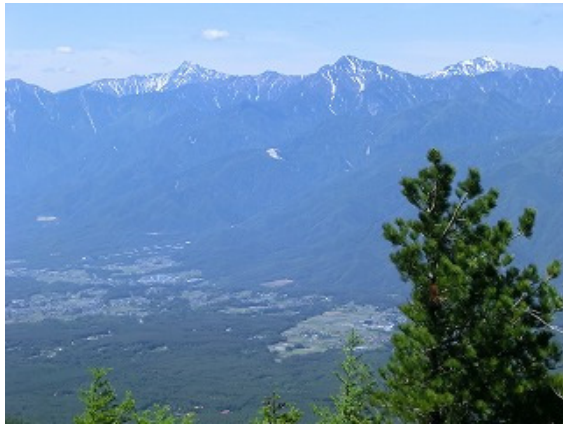
11：55 編笠山登頂。コースタイム通りの 30 分。頂上は 50 センチくらいの石で覆われている。若い人が多い。初心者向けの山なのだろう。風が冷たいのでカップを着た。時間はたっぷりあるのでゆっくり昼食をとった。暑いことを想定し、キンキンに冷やしたビールとざるそばを準備したがあては外れ、あったかいコーヒーとあったかいラーメンがぴったりだった。梅雨にもかかわらず雲の無い景色を楽しんだ。

北岳、甲斐駒は雪が半分解けゼブラ模様でかつこいい。北アルプスの槍もみえた。八ヶ岳側はそうそうたる峰々が目の前にそびえたつ。都会で間近に高層ビル群を見ているよう。壮観だ。1 本目のビールを開けたころ、権現に着いた別チームから電話が入った。手を振ったけど分かったな？ゲストの千葉さんはこれまで山でビールを飲んだことがないという。頂上ビールに取りつかれている私と掛橋さんはその魅力を説き、掛橋さんがコップで 1 杯振舞った。（ここでサッカーワールドカップの日本は逆転され 1-2 で負けてしまった。残念）。

下山前に看板の近くにいた人に写真を撮ってもらおう。赤岳鉱泉の従業員の若者で、月に一度の休暇のため下山中とのこと。今客が少ないので是非来て下さいとのことだった。13：38 下山開始。1 時間 40 分の長い休憩だった。下りは疲れた。足に力が入らないのでふらふらする。14：13 分岐点押手川。コースタイム 1 時間を 35 分で下りる。14：43 雲海展望台。コースタイム 40 分を 30 分で下りる。15：19 観音平駐車場。コースタイム 45 分を 36 分で到着。靴ひもを緩め、権現チームを待つ。15：40 権現チーム到着。

帰りに道の駅延命の湯に立ち寄る。12 人以上で団体扱いになりちょうど 12 人で一人 510 円だった。生ビールは 580 円。20：00 前に長泉到着。運転手さんお疲れ様でした。翌日から水曜日まで 3 日間、筋肉痛でした。

ちなみに 2007 年の記録では、長泉を朝 4 時に出発し、観音平を 6：45 に出ている。権現小屋 10：26、三つ頭 11：20~12：00、観音平 14：20 戻る。長泉着 20：00。



北岳・甲斐駒・仙丈



赤岳とギボシ



残雪



青年小屋を俯瞰

更紗ドウダン躑躅

